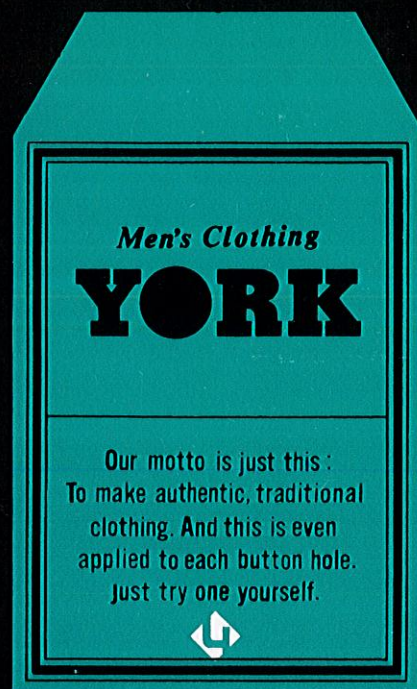
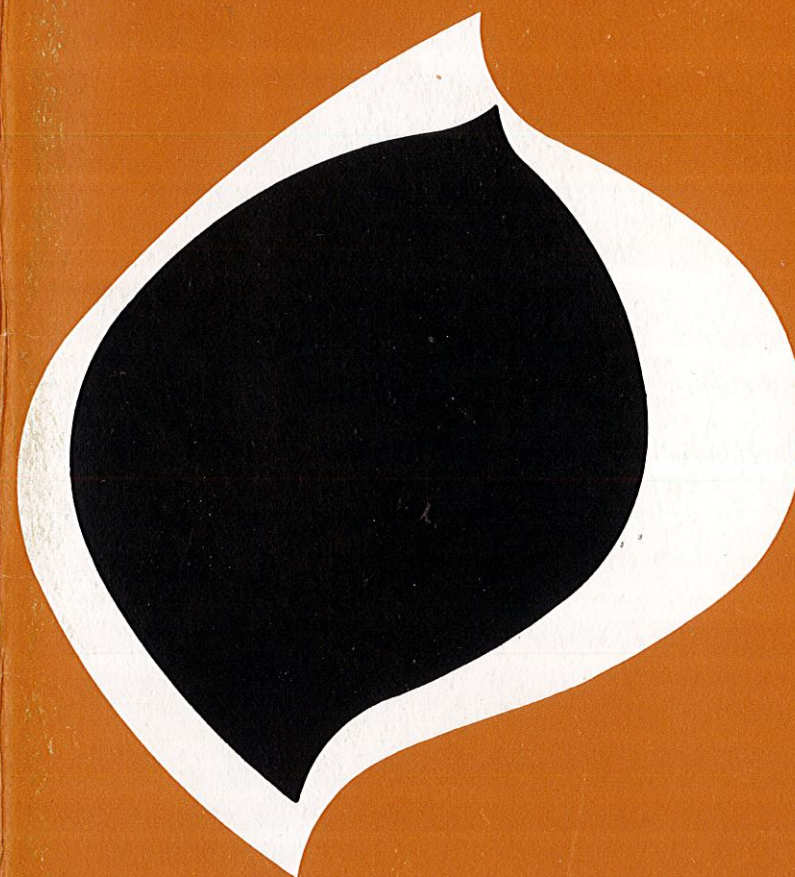




Authentic traditional clothing.

Men's Clothing
YORK



同志社グリークラブ
定期演奏会

創立63周年

同志社グリークラブ定期演奏会

1967年11月25日(土)

京都会館第1ホール



御挨拶

本日は御多忙の折、私ども同志社グリークラブ第63回定期演奏会に御来場戴き、ありがとうございます。創立以来63年間幾多の困難を乗り越えて歌い続けてくることが出来たのも皆様の暖い御支援の賜物と深く感謝しております。

最近の学生合唱団の技術的進歩には驚くべきものがあります。しかし、それが果して聴衆の耳に美しく、快くひびくかという、それは疑問です。私どもは、高度な技術の上に立った本当に内容の濃い音楽芸術を目標に精進してまいりたいと思っております。

その意味で今宵の演奏からかおり高い音楽の味わいを少しでも感じとっていただければ、私どもこれにまさる喜びはございません。

同志社グリークラブ

Message

同志社大学長
星 名 泰

ごあいさつ

本日、京都会館第1ホールにおいて同志社グリークラブ主催の第63回定期演奏会が開催されることになりました。私ども関係者といたしましては、まことによろこびにたえない次第であります。

当グリークラブは、学生合唱団としてはわが国でも最も古い伝統をもち、また、学生合唱界にあって常に高度な演奏技術をもって合唱界をリードしていると聞くのであります。これは一つに団員諸君のたゆまざる訓練と団結の賜物といえるでまいしょう。いま一つは多くの先輩達の築きあげた豊かな土壌の中に育ち得た幸運もゆるがせにできないのであります。

さて、今宵はご来会のみなさまに日頃の成果をお聞かせするのであります。当クラブの誇りとする美しいハーモニーが人間関係の調和・協調の上に生きている点を併せご理解いただければこの上なきしあわせであります。

どうか今後ともグリークラブのために変らぬご声援を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

同志社グリークラブ顧問
遠 藤 彰

第63回定期演奏会のために

激しい勢で進展する技術革新の現代において何よりも大切にされねばならぬものは、技術のもつ非人格性から自由に、そのもつ有用性を善用する人間精神の高貴さである。

すぐれた音楽を演奏し、またすぐれた演奏をきくとき、われわれの精神はこの時代の非人間的様相のただ中から離れて、高く遠く天に遊ぶ心地がする。この時、人間精神は地上のすべてのものから自由であり、また一切を支配しうる自由さをもつ。

グリークラブは創立いらい63年目の定期演奏会を通して、一貫してこの人間精神の尊貴をうたい上げて来た。同志社という精神的土壌の上に伸び来たこの合唱団の伝統は、変転する近代および現代の日本に一つの意味を持つものである。こうした特色と志向をもつグリーのごよいの演奏が、よくその本領を発揮するものであるように祈ってやまない。またわれわれもそうした点に期待を合せて傾聴したいものである。

(同志社大学神学部長)

Message

東西四大学合唱連盟

第63回定期演奏会、おめでとうございます。

東西四大学の演奏会が、6月に東京文化会館で行われてから、もう半年近くたってしまいました。そして、ここに一年の総決算である定期演奏会をお迎えになったことは未来に向って、歩みつつある貴クラブといたしましては、まことに意義深いものがあると存じます。東西四大学合唱連盟は、今年で16回目を迎えましたその間幾多の困難に見舞われながら、四校の情熱と、音楽に対する限りない愛情とをもって、それを克服し、今日の様な盛大なコンサートを開催できるまでに発展して参りました。そこには、単に演奏を聞き合うということではなく、お互の精神的な結びつきを土台として、より高度な、より音楽的な合唱音楽を吸収する態度があったからに他なりません。

その意味で、私達は各校の演奏会を、大きな期待をもって注目しています。今宵の定期演奏会が、常に前向きの姿勢と、勇気あふれる若さによって、すばらしい演奏会になりますことを心から念じております。同志社グリークラブの皆様の、今後の御発展をお祈り申し上げます。

Doshisha College Song

W. M. Vories
Carl Wilhelm

I 男声合唱による聖典曲五章

- 第一章 主よわれをあわれみ給え
- 第二章 栄光の頌
- 第三章 聖なるかな
- 第四章 神の子羊
- 第五章 アーメン

指揮 広野 寛
作曲 大中 寅二
作詞 守山 ふみか

II 夜の扉

- 夜の扉
- 窓の灯
- 壺
- 心の祭典
- 音楽の終り
- 月光

指揮 広野 寛
作曲 福永陽一郎
作詩 串田 孫一

III 愛の詩集

- Alleseelen
- Heimliche Aufforderung
- Traum durch die Dämmerung
- Morgen!
- Ich trage meine Minne
- Cäcilie

指揮 福永陽一郎
ピアノ 細川 哲朗
作曲 R. Strauss

Intermission

VI 日本民謡集

ソーラン節	北海道民謡	指揮 広野 寛
牛追い唄	岩手県	〃
最上川舟唄	山形県	〃
五木の子守歌	熊本県	〃
おてもやん	熊本県	〃

V 黒人霊歌集

- Chain Gang Song
- Lef' Away
- De Glory Road
- Dry Bones
- Set Down Servant

指揮 福永陽一郎
ピアノ 細川 哲朗

大中寅二先生と日本の宗教曲

大中寅二先生は、合唱世界ではもっとも有名な大中恩さんのお父様で、ですから、云ってみれば、もう日本の旧い世代に属している作曲家です。日本で最初の「作曲家らしい作曲家」であった山田耕筰氏の、最初のお弟子さんの一人でした。そして、この種の紹介のしかたが、先生のお気の召すかどうかかわかりませんが、日本の国民的愛唱歌とも云える「椰子の実」は、大中寅二先生の作曲です。

ですが、大中寅二先生は、あれだけ愛唱される「椰子の実」の作曲家であるのに、けっしてヒット・ソング・メーカーになるうとはなさいませんでした。大中先生は、ずっと以前から、東京は麻布の靈南坂教会に、作曲家及オルガニストとして、長い間、休まず奉仕されてきました。つまり、世界中の音楽の父と云われる、大バッハと同じ人生を過してこられたのです。その結果、このマスコミュニケーションの時代からは、知られていない存在でもあるのです。

大中先生の、一生涯つうじてのお仕事の一つは、日本のキリスト教、それも、日本独特の宗派である、プロテスタントの日本キリスト教会のための、大きなオラトリオやカンタータを作曲されることでした。それらは、たいいてい、演奏時間に、一時間よりずっと多くかかる大曲で、もう20曲近く完成され、演奏されています。

最初に、旧い世代の作曲家と申しましたが、それは、大中先生が「おとしより」だということに共通しているのではありません。たとえば、先生の奥様は、先生の息子さん（恩さん）の奥様より、お若いと聞いています。

そして勿論、作曲上の情熱は、実生活以上に「若さ」を保ちつゞけられておられます。

ここ数年、わたくしは、次々に完成される宗教音楽の大曲の発表の際の指揮を、まかせていただいてきました。わたくし自身、キリスト教の世界の育ちですので、あるいは、説明できないような音楽上の処理で、お気に召しているのかも知れません。

そして、ある日、最新作の、男声合唱のための「聖典五章」——カトリックのミサでいう、キリエ、グロリア、サンクトゥス、アニュス・デイ。それとアーメン・コーラスを、プロテスタントの精神と様式に合うように、工夫された典礼曲——の発表について、わたくしに相談がありました。わたくしは、大中先生の後輩であり、技術的にかなりの線まで作品を表現できると思われる同志社グリーに、これをうたわせることを、ためらいませんでした。しかし、演奏旅行などでの試演のあと、定期の曲目に入れるかどうかは、何人かのメンバーの、積極的賛同を得て、決定しました。

カトリックのミサ曲を、よくも悪くもうたい馴れた同志社グリーが、この新鮮な、「日本の宗教曲」というものに、対決して、感じている共感ととまどいが、あるいは同時に演奏にあらわれるかも知れませんが、これも、一里塚の一つであり、そのような作品に、みずからの先輩の曲を得られたことは、まことに、しあわせと云うべきでしょう。

（福永陽一郎）

男声合唱組曲「夜の扉」

——作曲するということ——

作曲家が自分の作品について解説を書くという事を、わたくしは無益だという以上に、軽蔑すべきことだと思っている。作品は、作品自身が、解明すべきものだと思う。云うまでもないが、わたくしは、わたくしの演奏について、あれこれ説明することを好まない。それなのに、こうして自作について、何か書こうというのは、やはり演奏家としての自分よりも、作曲家としての自分に、自信が持てないからかも知れない。

と云って、わたくしは、ここで、自作である組曲「夜の扉」が、表現すべき音楽の内容について説明したり、あるいは、書ききれなかった点や、この作品の持つ欠点に対しての、たくさんのエキスキューズを書き並べようというのではない。そんなことをすれば、恥のうわぬり以外の何物でもないだろう。

まず、どうして作曲（なんか！）する気になったか、書いておこう。わたくしは今年、依頼者の当るべからざる勢いど、頼まれたらことわりきれない私自身の弱い性格から、ある大学の男声合唱団のために、組曲を一つ書くハメにおちいった。その組曲は、この「夜の扉」と平行して作られていったが、しかし企図されたのは、別の曲が先である。そうして、今まで作曲なんかしようとも考えなかったのに他の合唱団に書くくらいなら、同志社グリーのような、わたくしの音楽を密着している合唱団のために、まず、その仕事始めをしなければいけないような気分、に、だんだんなってきたのである。

別の客観情勢もあらわれた。われわれは、非常にさいわいなことに——この「非常に」というのは、常用語としてではなく、「めったにないことなのに」と受けとっていたが——優秀な学生指揮者として、広野君を持

つことができている。この人になら、わたくしは、自作をまかせることができると思った。

実は、わたくしが自作を発表するのは初めてではないので、前回は自分で指揮して、たまらなく恥ずかしい思いをした。演奏行為というものは、たくさんのヨロイカブトに身をかためて舞台に出ていくのに似ているが、そして、当今のミリタリー・ルックではないが、或る面、それはかなりカッコイイ行為なのだが、自作だとそうはいかない。まるで、ハダカのまま、出ていくような恥ずかしさを感じる。今度は、ソレをしなくてよい。たいへん有難い。

作曲をしてみて、あらためて「作曲家」というものに尊敬の念を持った。これは、本当に言語を絶する創造活動である。無から有を生じる作業である。歌詞にメロディをつけることは、何でも易しいことだと思っている人もあるかも知れないが、実は、歌詞はワクである。わたくしの音楽はそのワクをはみ出した。それで、わたくしは、たいへん恥ずかしいことも、あえてやらなければならなかった。

いっぽうでは、わたくしに、作曲家としての自尊心や悪い意味での見栄、など毛頭なかったのも、いま、うたってくれる合唱団。いまきいて下さるかたがたの楽しみのために、書くことができた。後世に残さなくてもよい。空前絶後の傑作でなくてもよい、と思って作った。本来、わたくしが、眼前の聴衆だけを相手に音楽をつくる「演奏家」であるためかもしれない。当然、この一作で「わたくしは作曲家になった」などと云うつもりはまったく無い。

尚、この曲集は、串田孫一さんの、「朗読のための詩集」からとられた詩につけられたもので、その点、他の歌曲より、耳になじみやすいと考えている。（福永陽一郎）

Gourmets' Mecca in Kyoto

JUNIDAN-YA

JUNIDAN-YA - Villa Ever Green

200 years old farm house. Traditional dishes and folk style barbecue ¥2,500 up.
Kumogahata. Tel. (Sugisaka) 117./35 min. from any hotels downtown Kyoto./Open
daily 12.00 p.m. to 9.00 p.m.

雲ヶ畑十二段家

北区雲ヶ畑出谷町



炭焼と
生野菜の店

charcoal breile
マヤタ

京・三条大橋西詰 TEL21-7518

リヒャルト・シュトラウスの歌曲による『愛の詩集』

リヒャルト・シュトラウス(1864～1949)は、ワーグナーの系列を引く交響詩の作曲家として著名であり、「ドン・ファン」「ドン・キホーテ」「英雄の生涯」その他の代表的な作品は非常にしばしば交響楽団のプログラムにあらわれる。と同時に、オペラの作曲家としても「バラの騎士」「サロメ」その他多くの作品で20世紀最大の作曲家として扱われている。ドイツ歌曲の世界においても除外することが出来ない重要な名曲を数十曲残している。その大部分は清純な抒情を扱ったもので、巧妙な転調と、ドイツ風の機能的和音の連結の上に近代的な旋律がのっている。彼の歌曲は、いずれも至難の技巧を歌手に要求するが、かってこれほど甘美で華麗なドイツ歌曲はなかったと言ってよい。

Alleseelen……万 霊 節

シュトラウスの歌曲のすべてを通じて、最も清らかな愛に満ちた作品であり、この比類のない美しさと清純さは彼の壮大な交響詩が減ぶことはあってもおそらく永遠のものとして残るであろう。Hermann Von Gilmの美しい抒情詩による。この曲の中には相当に激しい異名同音的な転調が連続しているが、それらは詩の陰影からいっても必然的なもので曲の流れをこわすようなことはなく、後半のクライマックスへと盛りあげてゆく。「おお私の胸にふたたびかえってきて下さい」のところでの焼燃と、すぐそのあとの「かつての五月の日のように」の静かな追憶とのコントラストはいっそう曲を効果的にしている。万霊節とは、カトリックの死者の祭りの日で、ちょうど仏教のお盆のように、その日には、すべての死者の魂が、自由にものゝ居所にえると云われている。11月2日におこなわれる。

Heimliche Aufforderung……ひそやかなる誘い

Henry Mackay の詩。はればれとした壮大な感じのする曲で非常に華麗である。巧妙な転調と詩の雰囲気相まってこころよい。歌詞の意味は「高くあげよ、かがやく杯をおまえの口許に。飲めよ、飲びの宴に心も晴れ晴れと。杯をあげる時にはひそかに私に合図せよ。ともに微笑みながら飲もうではないか。……」と若者の恋の歓びを歌ったものである。

Traum durch die Dämmerung

Otto Julius Bierbaumの詩で大意は「たそがれの灰色の広い野。陽は消えて星は進む。さあうるわしい人の許へ行く。たそがれの灰色のはるか彼方、ジャスミンのしげみの奥へ」。シュトラウスの歌曲の中で最も靈感に満ちている。なんのよどみもなく、ゆるやかな、特徴ある伴奏に導かれて、たそがれの漂う世界へ我々を引いて行く。絶妙なこの歌曲は、その歌手の試金石ともいわれ、あくまでもデリケートな雰囲気をごわすようなことがあってはならない。詩は深いものではないが、音韻の美しさは無類である。

Margen!……あした!

Henry Mackayの詩で大意は「あしたこそ陽はかがやき、私の行く途上、陽を呼吸する大地の中で、二人を一つに結ぶであろう。……」。この曲の13小節の簡素な前奏は、はじめて聞く人の胸を捕えてしまう。静かな音のたゆみのなかで、二人の幸を祈る敬虔な美しさが押し寄せてくる。歌は祈りのように歌われ、伴奏は前奏の部分を繰り返す。ピアノの部分だけでもすぐれた独立曲ともいえる。

Ich trage meine Minne……愛を抱きて

単純な三部形式ではあるが、古典的風貌のなかにロマン的な香りがたちこめて、きく者の胸をうつ。Karl Henckellの詩で大意は「私の愛を、嬉しさにものもいわず私の胸に抱く。君をみつめたことで、くる日ごとがなんと嬉しいことであろう。空はくもり、夜は暗くとも、私の恋の金色の光は照りわたる。罪の世はいつわるとも、君の無垢の愛のまにに悪は盲目となろう。」

Cäcilie……ツェチーリエ

Heinrich Hart の詩による情熱的な歌曲ですべてを焼きつくさずにはいられないほどのたぎりたつ生命の交流がある。歌詞の大意は「燃えるような接吻、恋人と眼をみあって話したり、たわむれたりしながら散歩や休息、そんな夢をおまえが知るならば、心を傾けようものを、さびしい夜、身をつつむ嵐、慰めてくれるものもなく、闇に疲れはてた魂の不安をおまえが知るならば、私のところにごようものを。守りつつむ神の息吹き、光に運ばれ、天かける至福の高いところでの生を、おまえが知るならば、私と一緒に生きようものを。」

日本民謡レパートリーより

最上川舟唄 (山形) 作曲 清水 脩

さみだれをあつめて早し最上川
芭蕉はつねに推敲に推敲を重ねて苦吟したのであるが、この名句もその一つ。大石田のくちはてた西行寺の境内にいて見るとこの句碑があつて、それには「すずし最上川」と刻まれている。最上川は文化の上にまた、産業の上に大きな仕事をしてきた。この河は上流と下流で趣が違って、舟歌にも二通りある。今、最上川舟歌として一般に知られているのは上流の庄沢附近のものである。

牛追い唄 (岩手) 南部地方民謡 作曲 清水 脩

沢内三投石サアハエ 《お米の出どこヨー》
つけて納めた

サアハエお蔵米コーラサンサエー

(ハラヨーパッパババパーショキョホイ)

田舎なれども南部の国は 西も東も 金の山

けろり がっから だてに四つ柱 五弁袋に縄はらりん

ソーラン節 (北海道) 作曲 清水 脩

編曲 福永陽一郎

北海道の民謡というよりも日本の代表的な民謡。今から百年ほど前、安政時代に積丹半島でニシンをとるのにワク網を使った漁を始めたがその頃からうたわれたとされている。このニシン漁は、まず、漁民のなかでも力自慢のものがタモを網の中に直立にさしこむとき、船頭が「ヤーレン、ソーラン」と音頭をとる。このソーランのリフレインは、作業の進み方で五回になったり六回になったり、そのへんの呼吸はいつだって緩急自在にやる。

五木の子守歌 (熊本、五木村) 編曲 福永陽一郎

多くの民謡がそうであるように、このうたも、作者はもちろん、その発祥の地すらよくわからない。五木村の村史によると、「この歌はあまり古いものではない。この山村では、主人も子もりも焼け畑にゆき、子もりは焼け畑の木かげで子供をあやししながら、さびしく主人を待つのが常であった。そのさびしさが歌になり、上球磨の湯の前、多良木方面に奉行に行ったさい、さびしさをまぎらすためにうたったものでしょう」と記されている。

おてもやん (熊本) 編曲 福永陽一郎

おてもやん あんたこのごろ嫁入りしたではないかいな
嫁入りしたこたしたばってん
ごていどん(亭主)がぐじゃべ(あばたづら)だるけん
まだ盃せんじゃった。
村役トビ(鳶)役 キモイリ(肝入) どん
あん人たちのおらすけんで
あとはどうなるときゃなろたい。
川端町っあんきやめぐろ 春日(かすが)
ぼうぶらどんたちゃあ しりひっばって花ざかり
ピーチクパーチク ヒバリの子
げんばくなすびのいがいがどん。

黒人霊歌の演奏にあたって

日本の合唱団は、実によくロシア民謡と黒人霊歌をうたう。それらに演奏しているものにとって、一種の快感をとまなう要素があり、うたうほうが、いゝ気持ちでうたっている、聞いていても悪い気がする筈がないのが人気のあるゆえんであろう。

しかし、本来、日本民族の音楽性と、ロシア人や黒人のそれとの間は、決して近いものではない。わたくしは、いくらか比較音楽学に興味があるので、すこしくわしく調べてみたことがあるが、単に外形的な面だけとらえても、黒人の音楽は、日本人には近よりがたい。もっともそれだけ調べたりしたので、わたくしは、ソレをソレらしくやる、いくつかの手段は知っていて、そのために、黒人音楽のスペシャリストのように云われている。

もちろん、合唱団が好きでうたいたいものを、ヤメロヤメロと云うこともできないので、いま、で、同志社グリーが、ニグロものをするとき、ずっと学生指揮者のやりたようにやらせてきた。

さて、これだけ大上段に振りかぶった以上、自分で指揮することに踏みきった理由をのべなければならないが、それは、ステージの演奏から感じていたゞくしかない。

今度えらばれた曲は、いずれも、演奏会用に、ほとんど「作曲」というのにふさわしいぐらい、かざりたてた編曲で、そのかざり立てた分だけ、われわれが、われわれの音楽的教養で処理しやすいものである。民族の素朴な歌、というものは、ここにはない。

三つの、鉄道労働歌をあつめた「鎖につなされた囚人の歌」にしても、死んだ恋人をなげく「泣きうた」にしても、黒人特有の単純な宗教的観念を、効果的な演奏用歌曲にしたてた「栄光への道」にしても、さらには、ショー・ピースである「ドライ・ボーンズ」も、これはすでに、ユニヴァーサルな音楽的素材であつて、黒人民族独特の強烈なニオイはない。おしまいの「静まれ、人々よ」だけが、わずかに本来の黒人霊歌であるが、これとて、現在アメリカで、もっともショー的なコーラスの一つである、フレッド・ワーリングのベンシリヴァニアンのために、オノロバート・ショウが、ごく若いころ書いたものであつて、普通の黒人霊歌のレパートリーとしては華美にすぎるものである。

わたくしは、根底に流れる、黒人音楽の民族性を無視するわけにはゆかないし、可能なかぎり追及もするが、そのどうしても越えることが不可能な一線を、現在の同志社グリーの技術をもって、他のより一般的普遍的な部分の完全な表現でおぎなつて、一応の感動的造型をつくりだしてみようと、こころみる。

わたくしたちの終局的な目標は、日本の「われわれの音楽」の獲得であるが、そのために、こうした異民族の音楽を、共通の手がかりからはじめて、知り、獲得し、そしてその異和感を強く持って、そのうえで、われわれ自身を発見したいと思っている。

わたくしは、ムード的に外形だけなぞらった黒人霊歌にあきあきた、今度は、体当りであるが、それだけに、より真実に近いものに迫り得るかも知れないと、信じ、かつ努力を重ねている。(福永陽一郎)



名曲コンサート
毎日午後3時・7時の2回開催致します

名曲 百一首集
河原町蛸薬師(丸善南側入) TEL.22-5765

日本の学生合唱は——本当は学生合唱にかぎらないのですが、この際われわれに、直接関係のある問題として——かなり重大な転機にさしかかっているように思われます。表面的な技術上の問題。たとえば、発声、発音、音程、音符価値などの点について、いくつかのすぐれた学生合唱団の、舞台上の演奏にかぎって言及するならば、ほめられてよい部分も少なくないかも知れません。非常な訓練を経た結果に獲得されたレベルの高さは、アマチュアにとっては、限度といってよいほどの研磨のあとを聞かせることが、かなりしばしばあります。

それでは、それで「歌」がうたえたことになりましょうか。わたくしたち、指導者たちの間に、高い芸術に触れさえすれば、その芸術の、たとえ一部分であっても、必ず理解できる筈だという、ひそかな願望にも似た信仰があって、リヒアルト・シュトラウスをうたう学生の歌に、うっとりとした表情が出る時など、ホッとして胸を熱くしたりしますが、あとで録音テープを聞きかえすと、そうした安心は、手前勝手な願望にしか過ぎなかったような、不安をおぼえるのも事実です。責任を感じないわけにはいきません。

アマチュア音楽活動は、決して娯楽の一種でもなく、レクリエーションに終わっただけでは意味がない。それは、人間の本質的なものにかかわる、芸術そのものの確保と結び

つかなくてはならない。人間が「歌」をうたうという行為。そして又、その「うた声」を合わせる作業。それをつうじて、人間性の中のもっとも美しいものの発露。それが社会性を持ったとき。それが合唱をするという、音楽芸術の探求と申せましょう。こう云ってしまうとひどく観念的ではありますが、近ごろ、ますますそうした確信を固めております。

京都での、わたくしの最も大切な友人の一人であり、音楽上でも、お互いに支えあうことの多い、浅井敬堂君——先日、まれに聞く密度の濃い音楽をステージの上に乗せることに成功した合唱団・京都エコーの指揮者——が、いみじくも云っておりました。「もし、京都エコーはうまいという定評があるとすれば、それは、私たちが、やさしい曲を、すみずみまで理解してうたおうと努力してきたためでしょう。」と。

やさしい曲をうたいこなすことは、本当にむづかしいことです。わたくしは、前にも、「同志社グリーでは、云々。」という言明をこの「あいさつ」の場を借りてしたことがあり、いまさら恥じておりますが、今度こそ、言明をせずに進路を見ていたゞくことで、なっとくしていただけるような、そうした進みかたを、したいと念じるものです。

10月11日午後の事、まだ見ぬグリークラブの林信夫君の電話を耳にしました。

それは京都弁の ものやわらなものでした。そしてその中には何十年も前に私も歌っていた同志社グリークラブという「ことば」が何度かひびいてきましたが、私は一度に心を、その何10年にもどしてなつかしさを感じたのでした。福永陽一郎さんの御口添えで、今度私の作曲した「男声合唱による聖典曲5章」がその同志社のグリークラブによって、然も福永さんの指揮によって歌われると云うのですから流石の私も心を広げてよろこんだ次第でした。

いつまでも回想許りして1人で昔をしのびながら楽しんで許りいても仕方ありませんが何しろ同志社に勉強へ来たのか、グリークラブに入りに来たのか、はっきりしない私、否はっきりグリークラブに入りに来たような結果になり四年の年限を5年にのばして迄して細々とそれでも経済学科を卒業した私が、そのグリークラブを回想せずして、私の同志社生活がある訳ありません。

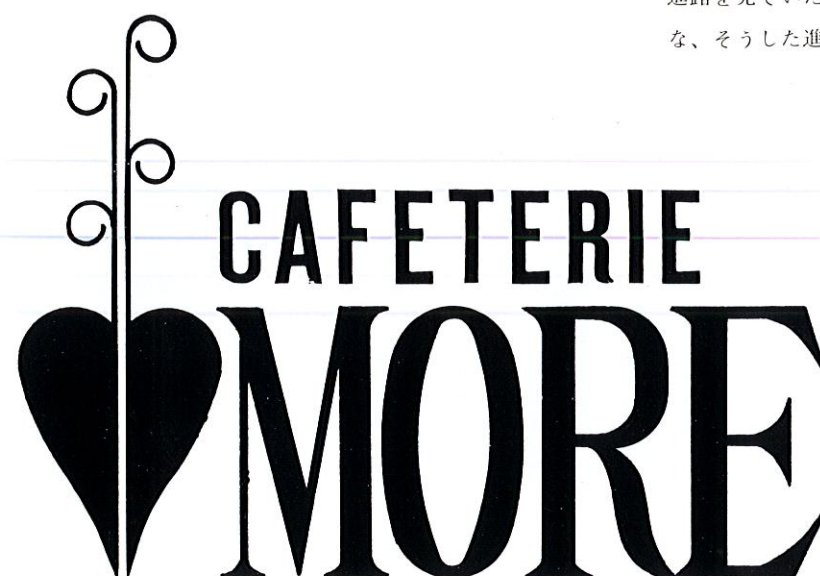
その私が同志社を卒業して以来、母校に関係したものについて作曲したのは、現行の校歌と、もう一つ何んかの記念式にグリークラブのために作曲したものと、それから今度のと都合三曲あるように覚えています。

私は現在、作曲者として一番一生懸命に或は執念のようになって作曲しつづけているのはリードオルガンのための最も正しい曲と、もう一つは日本の交声曲の作曲とであります。

す。そしてその交声曲も、今年になってかいた復活節のためのもので丁度18曲を数えるに至りました。

これは来年の9月26日に福永さんの指揮で二期会合唱団によって演奏されることになっていますが、私のその交声曲の第15に旧教のミサのことばをもとにして、新教で歌えるようにしたものがあるのですが、今度グリークラブによって演奏されるものは、それとは全然別なものです、要するにそれと同じく新教で歌える男声合唱のための聖典曲5章であります。

福永さんの話によれば、ことばが日本語であるため、この種のものとしては解り易いと云う合唱者の声もある代り一寸何んだか解らない、ラテン語か何んかのほうが、却って有難くひびいていいと云うような声もあるとかききましたが、それはとにかくとして元来壮重さや重々しさを表わすのに可成り適した性能をもっている男声合唱が、何んでもない音のはこび例えば外声部の5度や8度の平行と云うようなものが、壮重さや重々しさを表わすのにどんな風に役立つかそれが巧くひびけば大へん嬉しいと楽しみにしています。何んでもない所に難さが案外、身近にころがっている事もあり、今云ったような問題にもならないような一つの音の運びが案外有難さを歌いつくしていると云う事も凄々あると思うのですが、それが実際に巧く歌って貰ええると又別な有難さがしみじみと湧いてくるんじゃないかと楽しみにしています。



カフェテリア

モ ア

京都市中京区先斗町四条上ル
TEL 21-2008



カワイピア

株式会社 河合楽器製作所 京都支店

京都市中京区烏丸通二条上ル (バス停前) TEL 23-8405~6

グリー63周年の転機 & 演奏会

グリー63周年の転機 幹事長 林 信 夫

日活の浜田光夫は目の負傷による苦しかった闘病生活を、映画俳優としての自分にとって転機だと思っている、ベトナム反戦運動はアメリカ本国の学生運動高揚により一つの転機にさしかかっている、フーテンは野宿するには寒すぎる冬を目の前にして、彼らの行動の転機を迎えている、そして我々グリークラブも今、重大な転機にさしかかっていると思うのです。

現代とは「転機の時代」ではないかと思えます。上昇するか、下降するか、それとも現状維持か、しかし転機をほんとうに自分のものとしてとらえるとは、現代がある意味で、「転機過剰」の時代であるだけに困難な作業ではないか、と思うのです。「今は転機なのだ」と危機意識だけからまわりして、肝心の転機を実体化する作業がなされないことがよくあると思うのです。我々グリークラブはここに第63回目の重大な定期演奏会を迎えるにあたり、我々自身の転機を実体化するためにその転機を明確にしておきたいと思えます。以下の文は「グリー宣言文」として学内に発表したものです。

新しいグリーをめざして

我々が今生きているこの時代は、非常にしんどい時代だ。少くとも何かを感じ考え、何かをやろうと決意する人間にとって、この時代は決して我々の行動のよき理解者、協力者ではない。明かるとニヒリズム、眠い、眠いという怠惰な雰囲気がこの同志社のキャンパスにも漂っている。

我々男声合唱サークルであるグリークラブの一人一人の胸の中にも、ともすればだるい怠惰な気分ははびこり、表面は一応明かるいだけにこの魂の空虚さはよけいに我々の行動を鈍らせる。自分自身にとって音楽とは何か、学問とは、そして青春とは何か、という生きていくうえに根本的な問いかけは全て日常生活の曖昧さの中に埋没し、激しく決意し行動しないかぎり、状況にただ押し流されてゆく、そんな自分があるだけなのだ。気づこうと気づくまいと、現代日本の状況がかもしだすムードは我々の身内を支配しようとし、我々の真の行動を阻害する。サークルが適当なお遊びの場となり、ただ状況に押し流されていく人間のための偽の青春、慰みの歓喜の場に終る危険性は、今我々グリーメンバー一人一人の胸の中にもあるのだ。

グリークラブはここに全部員の意志を結集して宣言する。

我々は自らのサークルをマスプロ逃避の場、適当なお遊びの場としてではなく、厳しく文化創造を行う場、合唱音楽の今日的な可能性を追及する場としてとらえる。全ての

問題が今日的な可能性の追及としてとらえられる時、我々自身が築く世代像とはいかなるものか、我々自身が提出する価値とはいかなるものか、という問いは今まで自分が答えられはしなかった問いであるし、これからの最大の課題でもあるのだ。

現在、学生会館の自治を語る時、自治の理念はあっても自治を実体化する作業は困難をきわめている。ひんぱんな映画と講演会のみが我々の自治の所産であるなら、いったい学生会館のどこに文化創造の場があり、我々の価値の提出があるのか。安売り文化、偽物文化は我々の自治を内側から蝕む毒素なのだ。グリークラブが決意し行動する意味もそこにある。我々自身の価値観、世代像をアクチュアルに音楽の可能性として追及することがグリークラブの行為である。

「演奏会」 指揮者 広 野 寛

京都から山陰線で1時間余り行ったところに園部という町がある。空はあくまでも高く、ガスによるスモッグもないこの町に河鹿合唱団という小さなサークルがある。

20年前、満州から日本の兵士がこの山陰線を通して引きあげるとき、この合唱団は童謡をうたって彼らの労をねぎらったという。昨年の終戦記念日に東京に住むKさんが、その時のうた声が忘れられない、未だその合唱団はあるのだろうかという旨を新聞の投書欄に載せた。ところがこのことが縁でKさんとこの合唱団とは東京で20年ぶりで再会することができた。多分これは、K氏にとっても、河鹿合唱団にとっても記念すべき事であったに違いない。

合唱を始めた者は誰でも、うまくうたいたいと思う。ソロもやってみよう。自分の参加している合唱団がうまいと云われてみたい。そして、少なからずも賞賛されれば、悪い気はしないものであるという事も知っている。そしてこれらのいづれかを満足させるため、私の合唱団にはせいぜいこれだけの数のメンバーが必要だとか、演奏会までは何が何でも歯をくいしばって団結していこうという役員連の言葉が現れる。そうこうしているうちに、とても自分には読めそうもないと、まゆをしかめしかめしていた楽譜が何とか読め、うたえてくる。と、ついつい欲が出てくる。

シーズンになるとあちこちで演奏会が開かれる。たびに私はこんなことを考えてしまうのである。

1日100円で

カラーテレビが届きます

※楽器の十字屋が京都中央信用金庫とタイアップ、カラーテレビローンを始めました。

昭和42年12月末日迄にお買上げの場合、十字屋が特別に金利を全額負担致します。

詳しくは

十字屋 河原町店

京・河原町三条下ル TEL (22) 4905
5466

Profile

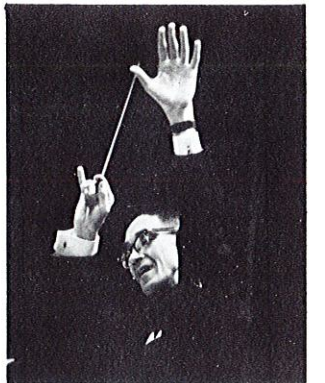
福 永 陽 一 郎 (指揮者)

1926年神戸に生る。東京音楽学校(現芸大)本科ピアノ科出身、1951年藤原歌劇団に入団、ピアニスト、副指揮者、合唱指揮者として経験を積む。1956年-65年藤原歌劇団常任指揮者として活躍。同団の第三次渡米公演に同行。アメリカ、カナダの主要四十六都市の公演を指揮した。1959年・61年・63年・67年のイタリア・オペラ来日公演には副指揮者、合唱指揮者として参加。

歌劇指揮者として、レパートリーは五十数種のオペラを持ち、日本屈指のベテランである。NHK-TVでは、「楽しいコーラス」「音楽をどうぞ」「音楽は世界をめぐる」のレギュラー指揮者をつとめ、他に「芸術劇場」「夢のセレナーデ」にも登場している。

合唱音楽に関しても経験が深く、合唱界の第一人者の一人である。1952年、畑中良輔氏と共に、東京コラリアーズを創立、日本最高のプロ男声合唱団に育てた。

アマチュア・コーラスに対する理解と情熱も過去二十年間、断絶することなく持続され、同志社グリークラブでは1961年より技術顧問であるほか、客演指揮、合唱講習会の講師、コンクールの審査員として、全日本的に活躍。又、合唱用の編曲作品は数百曲に及ぶ。



大 久 保 昭 男 (ヴォイス・トレーナー)

昭和28年東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。矢田部勤吉氏に師事。昭和34年、ドイツ・リート、日本歌曲により第一回のリサイタルを開く。その後、演奏に、大学合唱の発声指導に活躍。現在俳優座養成所講師。

細 川 哲 朗 (ピアノ)

1956年東京芸術大学ピアノ科卒業。梶原完氏、安川加寿子氏に師事。

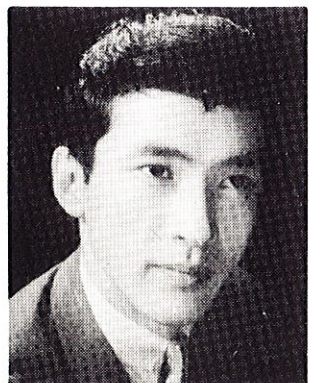
リスト等のロマン派からドビュッシー等の近代ものに至るまで、レパートリーを持つ。

第1回リサイタル昭和38年5月イイノホールにて開催

第2回リサイタル昭和39年10月文京公会堂にて田村宏氏と二台の為のピアノコンサートを開催

第3回リサイタル昭和41年10月虎の門ホールにて開催

尚、現在独奏、伴奏、合奏と各分野に活躍中。



HOME MADE COOKIES

北欧の香り

ママの味

ご贈答に最適



純欧風銘菓

泉 屋

本 社 京都市中京区烏丸通二条下 TEL 23-代表 4185-8
名古屋・京阪神・姫路・中国・四国・九州・北陸・山陰 各有名百貨店

グリークラブ学年紹介

4年

覚えて、一年「リーチ」の二年、リーチピンフ、三年「メンタンピン」、四年「メンタンピンドライチ」満貫と相成る。而るに、読者諸兄には、このイーハンの差を安易に看過すべきではありませんまい。グリーにあって、一年の差というのは、その音楽的素養、人生経験、人間的スケール etc(?) に於て、倍の差を意味するということである。具体的且つ数理的に表わすなら、何かにつけ、一年生は四年生の $1 \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{8}$ ということであり、たとえ三年といえども $1 \times \frac{1}{2} = \frac{1}{2}$ ということである。下級生がいくらあがいてみても、この厳然たる現実はどうしようもないのである。写真のどの顔にも、厳しく生き抜いてきた男達の哲人的な風格がうかがえます。え、どれもこれも何処かで見たようだ? そうでしょう、社会科の教科書にありましたね。何は共あれ、四年間グリーと共に泣き笑い、鍛え上げてきた男達、グリーの危機だ、学生生活はこれでいいのか、等々、必要以上にさえずる下級生を横目で睨みつけ、彼等が全身全霊を打ち込んで創り上げた歌声は、今宵ひととき高々と響き渡ることであろう。すばらしい兄弟、この誇り高き男達。乾盃!

written by. A. Nakajima.



3年

Still young ということばをよく見たり聞いたりしたことがあった。そろそろ老境に入ろうとしているじいちゃんたちが、まだまだ元気だっせ、もっと若返りたいもんですわという時のあわれみを帯びたほほえましい気持を表わした合い言葉だ。ところがこのStill youngは、元はといえば、グリーの三年生のために創り出されたからかい文句なのである。young ということばからは、はつらつとした、びちびちした若さだけを感じ取っていたのに、新しい意味がかってに付け加えられた。要するに、今だに子供っぽいと言いたいらしい。子供っぽい顔の持主がうんという学年に違いはない。こう書くと、このからかい文句を認めてしまったことになる。実際、映画館でスパスパやっていて、「ちょっとこっちへ来てんか。……高校生とちがうか。」と手帳を持ったこわそうなおじさんから嫌疑をかけられたのがいるのだから…。だがこれに三年生の持っている大いなる権力でうむを言わさぬところまで弾圧をかけようといったけちな人間はひとりもない。軽く受け流すだけの広い胸を持っているのばかりである、三年生の発声がいいのは、豊かな響きを造り出すこの広い胸に通じている。

けどやっぱし、ちょっとは気になるなあ…とは、偽わらざる僕らのひとりごと。このひとかけらの悩みはどうしたものか。そこでつらつら考えるに、このからかい文句の奥の奥には、三年生の fresh な指導力を感じよく思っている皆の気持ちがある。幼ない顔のうちには、とびはねる若さと力がこめられている。言える言える、とよるこぶのは三年生だけかも知れない。(S. U)

2年

グリーメンになるための二条件(と2年)

- 条件1 男性であること。…(合宿で確認し合ったので絶対に問題なし)
- 条件2 同志社の学生であること。…(教室でお互い確かめることが出来なかったのも、この点かなり疑問はあるが、教師でなければ学生だから問題なし)

期待されるグリーメン像(と2年)

1. 頭が良いこと。(学校の成績だけで頭の良し悪しを決定するのには、かなり無理があると思うので特に問題なし)
2. リズムが良いこと。(多少の不出来は認めあおうと思う。…お互いの平和の為に)
3. 発声が良いこと。(2年には、ヴォイス、トレーナーが出来るぐらい発声が良い者がいるのでこの点全面的に問題なし)

この辺でもうよそうと思う。というのは上級生に劣等感をうえつけるのはあまり賢明ではなさそうな気がするから。

——グリークラブ2年問題野郎達代表 M. O記——



グリークラブ学年紹介

1年

僕達は、かわいい1年生。何も知らないで飛び込んだGlee。こわーい、こわーいおじ様達が「一見」だけとは露知らず。

入って1月もたたない内に、そろそろ正体がわかったものの、時すでに遅し。

「もがいても、もがいても抜け出せず、どないしょう」などと言ってるうちにとうとう御所に引張り出され、あれやこれやと口では言えない辛苦にあい、いつの間にか軟喉がい、胸部、及び腹部に異常発育と拡大のうさ目にあった。そのうち合宿とかに連れ出され、はては、じゃじゃ降りの雨の中、ベンチに座って黙祈し、左向け右などと非(?)人間的行動を強いられ、帰京しては、練習練習できたえられ、感じやすい心に傷をつけられながらも今日までやって来た。

そして今日、この今宵、真新のステージコートに身を包まれた(?)かわいい僕達1年生。

僕達の恋人、それは手あかと赤鉛筆で汚れた数十枚の楽譜。彼女達は呼べば呼ぶほど答えてくれる。この感激!! だけど……

僕達1年生のがんばりをじっくり見ていて下さい。ね、バイバイ、(Y. H)

古都を吹き抜ける風も日増しに冷たさを加え、芸術の秋もいよいよ華やかなフィナーレにさしかかると、我々の定期演奏会も目前である。そんなこの頃、練習で疲れきったグリーンメンの心に、この1年の想い出がふっと浮んでくるのである。

冬 再開2年目にして早くも文化都市京都に欠かせぬ行事となった全同志社メサイア演奏会。技術的にはまだまだ問題もあろうが、300人が心をついて創り上げる音楽は素晴らしい。ここに我々は他のどの演奏会とも違った新しい感激を見出すのである。

時間はある時には無情とも思える正確さで進む。そしてついにその日を迎えなければならないのである。27人のグリーンメンが、計り知れぬほどの感激を与えてくれたグリークラブと別れなければならないその日、Farewell Concert。天まで届けとばかり4年生を胸上げる下級生、狂ったように渦まくストーム、あらん限りの声で叫ぶフレーフレーの声……こんなにはしゃぎ回るのも、あふれ出んとする悲しみを少しでも意識の隅に追いやって涙を止めようとしているからなのである。こんなことで止まる涙ではないと知りながら……。それにしても、もう2度と着ることのないステージコートをかかえ、寂しくグリーを去っていった卒業生の胸中に去来するものは何であっただろうか。

春 学年末試験が終るのを待ちかねたように、春の演奏旅行の練習が始まる。どしりと我々の肩にかかってきたグリークラブは重い。それに4年生の抜けた穴の大きさも新ためて感じる。しかし我々は必死でそれを克服してゆかねばならないのだ。ファイト、ファイト！

演奏旅行は終わった。2ヶ所で何だか物足りないような気もしたが、安城・広島での演奏会の大成功はそれを補って余りあるものであった。演奏会の興奮はなかなか我々を平生に戻してはくれぬ。いつもながら会場から宿舎まで大声でハモリながら行列する。

入学式を済ませた1年生は一足キャンパスに足をふみ入れたとたん、度胆を抜かれて立止る。見るからに雑然とした各サークルの出店が並び、グロテスクな看板が林立し、血走った目つきの男達がウロウロしているのだ。1瞬、彼は不吉な予感にとらわれるが、止むを得ず恐る恐る歩きだす。するといきなり肩をたたかれ、こんな声を聞く。「オイッ！グリーに入らんか」かくして又も1匹の迷える子羊が哀れな犠牲に、いや、神の御導きにより、救われたのでアリマシタ。

講義が始まるとグリークラブでも早速フル回転を始める。50名の旅行メンバーは再び集まって四日市まで足をのぼす。ところで、練習が開始されて間もないある日、指揮者が複雑な表情でグリーンメンの顔を一通り見渡したと思ったら、数日後次のような爆弾声明が発表された。いわく、「今年は春にも強化合宿を行います。」さらに打ち明けて言えば、この合宿は今まで行なわれたどの練習より厳しかったのである。

新年度の活動を始めたグリーが最初に迎える演奏会は関西六大学である。歌うことがメシの次に好きな六大学の若人達。彼等の胸中には歌という絆で結ばれた連体感と、さかんな対抗意識が宿っているのである。

6月の声を聞くとクラブ内の緊張は急早に高まってゆく。日本最高の合唱演奏会と自他ともに認める東西四大学交歓演奏会が控えているのだ。うち続く強化練習に朝から晩まで歌い続け、夢の中でさえ歌い続け、音楽の厳しさを十分味わわれる。ドイツ語は実に唾がたくさん飛ぶものだと

いう事も思い知らされる。こうして鍛えあげたりヒアルト・シュトラウスの『愛の詩集』をひっさげて東京に乗り込む。慶応、関学、早稲田の顔ぶれは相手にとって不足はない。不断は気のあった仲間でも一旦ステージにあがれば厳しいライバル同志なのだ。それだけに最高の演奏をしなければならない。やがて我々のステージがやってくる。この日ばかりは4年生といえども初ステージの時のように緊張する。いつもなら寒気を催すようなグリーンメンのツラもこの時ばかりは天使のように美しい。そして熱狂的な拍手、拍手、拍手！我知らずかすむ客席。ひしひしと迫る満足感。この素晴らしい感激は何よりも貴重な宝となって永久にグリーンメンの心に残るであろう。

夏 四連の興奮今ださめやらぬある日（我々はこの状態を四連ボケという）、新役員が発足した。彼等の初仕事はアメリカからハーバードグリークラブ、ラドクリフコーラルンサイエティを迎えてのジョイントコンサートである。時は折しも米国独立記念日。旧役員の手を借りたとはいえ、彼等の出足は好調ようである。

さあ、演奏旅行の練習だ。短時間で多くのレパートリーを仕上げなければならないパートリーダーの苦労は大変なものだ。ただでさえやせている彼等（いかなる偶然か、今年のパートリーダーは4人が4人とも小枝のようにやせているのだ）に夏やせて苦労やせが加わったらどんなになるであろう。きっと最後には溶けて無くなってしまいうちにちがいない。

今回はグリークラブ久し振りの長期旅行となった。だから、新居浜・高松あたりでは全員意気盛んであったが、松江・出雲と回って行くにつれてホームシックが流行し、あるグリーンメンは星を見上げてこうつぶやいたそうだ。「お母ちゃん」

だが何といっても旅行中最大の圧巻は日程の都合でできた広島演奏会後の長期フリータイムであろう。そもそもグリーには昔から面白い伝統があって、フリータイムには必ず……いやいや、めったな事は書くまいぞ、書くまいぞ。

数日後福岡に集合。当地が最後の演奏会となって解散。

9月にはいとと夏期の合宿が始まる。朝・昼・晩と息つく間もなく行われる猛練習。

しかし合宿の終りには楽しいアトラクションやコンクールが開かれる。そしていよいよ1年生にとって忘れることのできない洗礼式を受けるのである。こうしてFreshは正式にGleeにOldとして仲間入りするのである。

秋 京都に帰って来るといよいよ定演の本格的練習だ。新町校舎の一角にある練習場をちょっと覗いてみよう。扉を開けたとたん、ビーンと張りつめた雰囲気を感じられる。「ダメッ！」厳しい指揮者の声がとぶ。「質問！」鋭い声のがね返る。時にはタイミングのよいジョークもとぶ。こうしてだんだんと曲が仕上がってゆき、それに伴って益々白熱化していくのである。

数々のレパートリーの中でも黒人霊歌は我々の胸を打つ。皮膚黒く生まれたがためにあまりに苦しい奴隷としての一生を送らねばならなかった黒人達。死ぬことのみで救いの道を見出し、天国こそ真の我が家と信じた彼等。彼等の心の叫びである黒人霊歌をグリーンメンは涙を流して歌うのである。Oh, Lord. / Lemme go back home. /

さあ、いよいよ明日は本番だ。緊張のあまり眼れぬ1年生。嬉しさのあまり眼れぬ2年生。最後の定演を迎えて感無量の4年生。図々しく眠っているのは3年生だけ。だが全員の心は同じ、明日は頑張るぞ！ (N. T)

我クラブは今年で創立63年、現在部員 100余名という大

世帯で、その目的たる「同志社精神を載し、メンバー相互

のメンタルハーモニー・カレッジライフの向上」に不断の

精進を続けております。明治34・35年頃は単に賛美歌を練

習するための小グループだったのですが、明治44年現名誉

顧問片桐哲先生がこれをグリークラブと名付け、始めて組

織化されました。しかし聖歌隊的なものに飽きたらない学

生が大正二年プリムローズなる合唱団を組織、一般の合唱

音楽の研究につとめるようになりました。以後両合唱団は

或は共に或いは別に活躍し、その足跡は遠く満洲、朝鮮、

中国、台湾に及んでいます。昭和16年両合唱団は合併し、

同志社大学男声合唱団となり、戦後いちはやく復活し、同

志社グリークラブとして今日に至っております。その間、

毎年の定期演奏会、東西四大学合唱祭、関西学院グリーク

ラブとの交歓演奏会、関西六大学合唱演奏会、立教大学グ

リークラブとの交歓演奏会、テレビ・ラジオ放送、毎春夏

の演奏旅行などに努力を続けて来ております。かくの如く

半世紀を超える輝かしい歴史の間、1000名近い先輩を送り、

今なお音楽界で活躍中の内田栄一、大中寅二、湯浅永年、

山口隆後、宅孝二、水谷央、今西善治郎の諸氏もその一人

であります。現在、福永陽一郎先生を技術顧問、大久保昭

男先生をヴォイストレーナーとしてお迎えし、より高度な

音楽の創造を目的になお一層前進せんと努力いたしており

ます。

教養と技術を育てる〈藤川〉

藤川服飾学院

京都市中京区御池通河原町西入 TEL 23-6391-4

■デザイナーを志す方へ…
服飾専門コース

〈昼・夜間〉 本科→師範科→デザイナー専科(春組のみ)

●奨学制度 年間20名 各5万円支給

●海外派遣制度 バリ・ニューヨーク

■豊かな生活を望む方へ…
教養コース〈昼・夜間〉

レギュラーコース

現代の家庭はまったく近代化され、非常にヴァリエーションに富んだものに变化してきました。そうした変化に適応した家庭生活の教養を一貫したプログラムに組みあわせて設置されたものです。

例 和・洋裁・手芸・編物・料理・インテリアデザイン
チャーム、特別講義 etc.

シングルコース〈昼〉

〈ファッションイラスト(含スタイル画)、英・仏会話〉

入学受付期間 '68春組42・11・1-43・3・30

●ごあんない



入学案内書進呈
(要送料〒351円)
(GLEE42・11・10)

藤川デザイン学院

京都市左京区田中高原町27 TEL (79) 0134

■創造の職業を志す方へ…
昼間部〈2ヶ年修業〉

●奨学制度・海外派遣制度あり

テキスタイルデザイン科…繊維デザイン専攻・染織専攻

ビジュアルデザイン科…グラフィックデザイン専攻

ディスプレイデザイン専攻

コマーシャルフォト専攻

プロダクトデザイン科…工業デザイン専攻

インテリアデザイン専攻

夜間部〈短期修業コース…1年〉

美術科…デッサン・クロッキー・版画

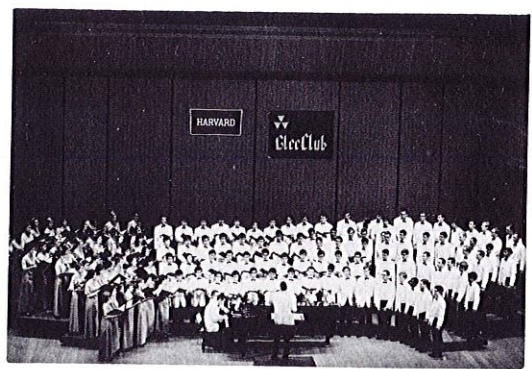
テキスタイル…繊維図案

デザイン科…レタリング・イラストレーション・印刷

製図

入学受付期間 '68募集42・11・1-43・3・30

グリークラブ1年のあしあと



1966	12月5日	定期演奏会	京都府第1ホール
	12月9日	〃	大阪毎日ホール
	12月23日	全同志社メサイア大演奏会	京都府第1ホール
1967	1月13日	Farewell Concert	〃
	2月21日	毎日テレビ出演	
	3月9日	春期演奏旅行	
	14日	(安城 広島 四日市)	
	3月21日	卒業式出席	栄光館
	22日		
	4月5日	入学式出席	〃
	6日		
	4月21日	藤川学園入学式出演	京都府第2ホール
	4月21日	春期合宿	大谷ホール
	24日		
	5月6日	関西6大学合唱演奏会	京都府第1ホール
	5月8日	文連音楽祭出演	学館ホール
	5月18日	県連Joint Concert出演	京都府第1ホール
	6月18日	同志社、関学交歓演奏会	フェスティバルホール
	6月24日	東西4大学合唱演奏会	東京文化会館
	25日		
	7月4日	ハーバード・ラッドクリフ・同志社グリークラブ Joint Concert	京都府第1ホール
	8月2日	池田小学校PTA音楽会出演	
	8月5日	夏期演奏旅行	
	17日	(新居浜 高校 松江 出雲 広島 博多)	
	9月9日	夏期合宿	野尻湖ハウス
	14日		
	9月16日	ビクターレコードレーディング	西宮市民会館
	10月3日	彦根東高校文化祭出演	
	10月19日	学内コンサート	学館ホール
	10月21日	芦屋高校創立5周年記念祭典出演	
	10月25日	同志社男声合唱の夕べ	大阪毎日ホール
	11月2日	同志社女子大学邦楽部演奏会出演	京都府第2ホール
	11月3日	梅花学園祭出演	
	11月11日	同志社大学邦楽部演奏会出演	
	11月12日	京都市PTAコーラス交歓演奏会出演	京都府第1ホール
	12日	生野ライオンズクラブ出演	
	11月18日	朝日全日本合唱祭	新宿厚生年金会館

Members

名誉顧問 片桐 哲
顧問 遠藤 彰
技術顧問 福永 陽一郎
ヴォイス・トレーナー 大久保 昭男

役員 マネージ系

幹事長 林 信夫
内政マネージャー 吉本孝夫
外政 小瀬 康治
会計 〃 松本 正博
ステージ 〃 〃 〃
演奏旅行 〃 〃 〃
文連常任委員 三好 照孝
外事庶務 小倉 良介
内事 〃 金田 稔彦
会計サブマネージャー 福岡 美彦
演奏旅行サブマネージャー 北野 博之

技術系

指揮者 広野 寛博
副指揮者 桑山 成一郎
パートリーダー 上野 本五雄
Top Tenor 松坂 下知司
2nd Tenor 松坂 下知司
Baritone 松坂 下知司
Bass 松坂 下知司

Top Tenor

荒井 直 (工4) 四日市高
磯谷 賢一 (経4) 鴨沂高
熊谷 信治 (経4) 修猷館高
高橋 皓 (法4) 仙台一高
鶴戸 博行 (文4) 嘉穂高
梅崎 邦奉 (工4) 東筑高
千頭 英雄 (商3) 同志社高
藤田 和久 (商3) 同志社香里高
林 信夫 (文3) 同志社香里高
川口 幸信 (法3) 同志社香里高
築山 直史 (工3) 岡崎高
上野 成一 (文3) 桃山高
新井 力 (経2) 岩国高
浜田 文隆 (法2) 洲本高
東 英達 (商2) 小松高
今井 洸二 (法2) 京都高
金沢 良二 (法2) 和泉高
北野 博之 (文2) 同志社香里高
木下 徳弥 (工2) 札幌北高
織江 信 (経2) 山形南高
上宮 五郎 (文2) 時習館高
栗飯原 裕継 (文1) 同志社香里高
畠山 耕一郎 (商1) 大竹高
京谷 史郎 (文1) 新湊高
松野 正信 (法1) 同志社香里高
白石 誠 (文1) 同志社香里高
山田 邦博 (経1) 洛北高

2nd Tenor

深木 善治郎 (経4) 長田高
村岡 健二 (経4) 東海高
中 嵩 暁 (経4) 旭ヶ丘高
野間 克志 (経4) 福知山高
太田 睦夫 (経4) 山城高
魚谷 庄司 (商4) 豊浦高

山根 廣 (文4) 洛星高
雨森 伸爾 (法3) 阿部野高
浜本 博 (法3) 同志社香里高
岩田 越夫 (法3) 勝山高
松本 公郎 (文3) 同志社香里高
長沢 克彦 (経3) 福岡高
小瀬 助 (商3) 同志社香里高
湯浅 克義 (法3) 園部高
荒川 順一 (経2) 西舞鶴高
福島 稔 (商2) 桂高
猪飼 久司 (文2) 大牟田北高
金田 稔 (法2) 嵯峨野高
松本 裕二 (商2) 大牟田北高
大野 栄治郎 (経2) 大聖寺高
春成 博 (法1) 同志社香里高
小石 伊久男 (商1) 桂高
首藤 俊一郎 (経1) 同志社香里高
助野 政和 (法1) 芦屋高
山川 喬 (文1) 桑名高

Baritone

遠藤 好俊 (文4) 長野高
林 浩一 (経4) 同志社高
久野 春雄 (工4) 福岡高
井本 昌男 (経4) 松永高
楠本 栄 (経4) 今治南高
坂上 剛 (経4) 長崎西高
高橋 正佳 (経4) 大聖寺高
横野 守 (商4) 山崎高
松田 五雄 (商3) 洛東高
持田 克己 (神3) 楠枝高
佐々木 正明 (商3) 明星高
田中 昌博 (商3) 成章高
渡辺 弘 (商3) 明和高

矢頭 宜男 (経3) 中津北高
福岡 美彦 (法2) 汎愛高
浜田 雄策 (文2) 汎愛高
三好 照孝 (商2) 洛東高
西野 正教 (商2) 布施高
小川 利夫 (商2) 瑞陵高
小倉 良介 (工2) 八戸高
鶴田 隆久 (工2) 布施高
渡辺 寿一 (工2) 長田高
平松 実 (工1) 嵯峨野高
出海 次郎 (文1) 同志社香里高
沢田 信一 (法1) 同志社香里高
竹内 俊行 (法1) 総社高
植村 久元 (法1) 敏傍高

Bass

広野 寛 (法4) 園部高
入野 賢二 (商4) 阪南高
神谷 洋司 (文4) 安城高
中根 敏雄 (法4) 西京高
佐々木 求 (文4) 修道高
柳原 高志 (法4) 同志社高
坂東 憲治 (工3) 富岡西高
坂下 知司 (工3) 洛北高
白船 靖良 (経3) 夕張北高
吉本 孝夫 (法3) 大濠高
真島 信行 (商2) 洛北高
大崎 高俊 (法2) 淀川工業高
浜田 陽三 (文1) 同志社香里高
井上 正昭 (法1) 滝川高
前田 憲一 (工1) 同志社香里高
松本 源治 (経1) 同志社香里高
岡山 滋 (経1) 小倉高
大西 秀孝 (文1) 高松高
高田 英生 (法1) 山崎高
土屋 文男 (神1) 新島学園高

お知らせ

同志社グリークラブ創立63年度卒業年の為の

Farewell Concert

と き 1968年1月11日 6:30

ところ 京都会館第1ホール

入 場 無 料 (整 理 券)

全同志社 メサイア演奏会

と き 1967年12月24日

ところ 京都会館第1ホール

出 演 指揮 秋 山 和 慶

同志社交響楽団

女声合唱団 (同志社、女子大音楽科有志他)

男声合唱団 (グリークラブ)



新装開店

すき焼・会席

円山観光会館

京・円山公園藤ノ棚前
TEL (56) 0025・0026

会席 (8品) ￥1,000より

肉すき (御飯付) ￥ 700

鳥水だき (御飯付) ￥ 700

すき焼 酒2本
御宴会 御飯付 ￥ 850より